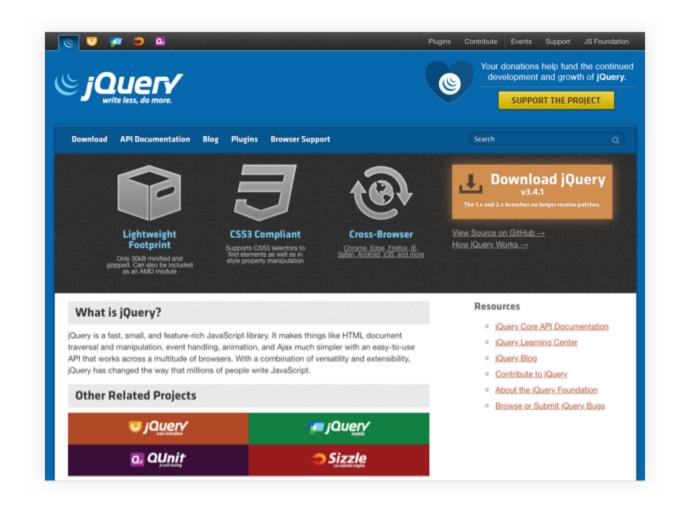
# **jQuery**

jQueryとは

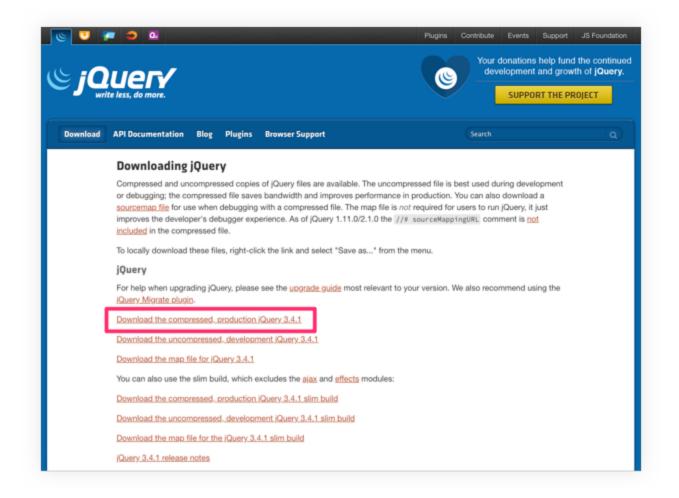
#### https://jquery.com/

JavaScriptの構文を簡略化して、CSS風に記述することができるライブラリ



jQueryのダウンロード方法1

## https://jquery.com/download/



### 右クリックで「リンク先を別名で保存」



jsフォルダを作成してダウンロードしたファイルを保存する

## HTMLにjQueryを読み込む

#### index.html

```
<footer/>
<script src="js/jquery-3.4.1.min.js"></script>
</body>
</html>
```

body の閉じタグの前に script タグを作成して読み込む

jQueryのダウンロード方法2

## HTMLにjquery.comからサーバー経由でjQueryを読み込む

#### index.html

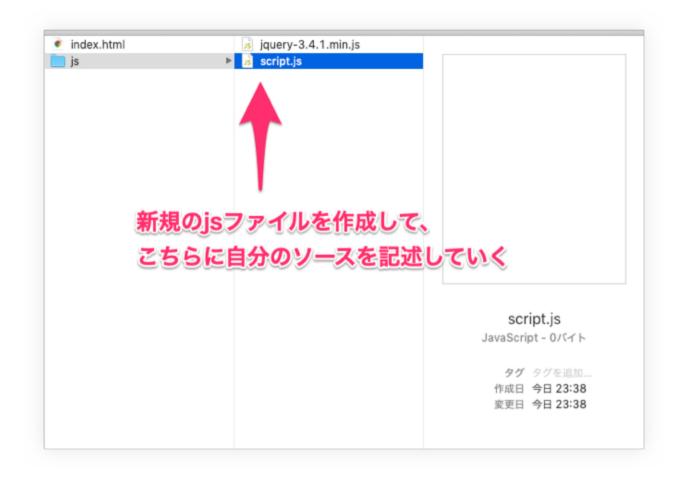
```
<footer/>
<script src="https://code.jquery.com/jquery-3.4.1.min.js"></script>
</body>
</html>
```

body の閉じタグの前に script タグを作成して https:~ から読み込む

インターネットに接続していないと使用できない。

JavaScriptの記述場所

## jsファイルを新規作成



## 新規jsファイルの読み込み方

```
<footer/>
<script src="https://code.jquery.com/jquery-3.4.1.min.js"></script>
<script src="js/script.js"></script>
</body>
</html>
```

ライブラリ(jQuery)の読み込みが先。自分のソースが後

jQueryの書き方

## jQueryの記述パターンはこの3つ

- 1. HTMLの読み込み待ち read
- 2. HTMLの操作 selector
- 3. イベントの扱い on

1HTMLの読み込み待ち ready

JavaScriptを実行する場合、ブラウザがHTMLタグを読み込み終えてから処理を始めない と、操作対象が見つからなくなる。

### script.js

```
jQuery(document).ready(function(){
    //HTMLの読み込みが終わるとこの中が実行される
});
```

## readyの短い書き方

### script.js

```
$(function(){
    //HTMLの読み込みが終わるとこの中が実行される
});
```

'\$' は jQueryの略称

# jQuery セレクタ

JavaScriptからHTMLにアクセスする

HTMLタグ / id / classの取得

#### index.html

```
<h1>ドリンクメニュー</h1>
<h2 id="title">本日のコーヒー</h2>
ホット
```

#### script.js

```
$('h1'); //h1タグを取得
$('#title'); //h2タグを取得
$('.type'); //pタグを取得
```

'\$' はjQueryの略

親要素から子要素の取得

#### index.html

```
<div class="container">
     本日のコーヒー
</div>
```

### script.js

```
$('.container p'); //.containerの中の`p`タグ
```

半角スペースで子要素にアクセスする

## find

## script.js

```
$('.container).find('p'); //.containerの中の#title
```

.find()で子要素を探す

## CSSの操作

css() の命令でCSSのプロパティを扱うことができる

index.html

```
<h1>ドリンクメニュー</h1>
<h2 id="title">本日のコーヒー</h2>
ホット
```

#### script.js

```
$('h1').css('color','#FF0000'); //文字色の変更
$('#title').css('background-color','#EFEFEF'); //背景色の変更
$('.type').css({
    'fonnt-size':'15px',
    'color':'#00FF00',
    'background-color','#EFEFEF'
});
```

### liの適用

index.html

```
        >ブレンドコーヒー
        >カプチーノ
        >カフェラテ
        >キャラメル マキアート

                  <l
```

#### script.js

```
//(0から数えて)2番目の文字色を変更
$('#menu li').eq(2).css('color', '#00FF00');
```

# イベント on

## イベントとは

ユーザーの挙動などによって、何か要素を変化させる場合、イベントという処理の流れが必要になる

### イベントの種類

- マウスでクリックする
- マウスでダブルクリックする
- マウスが動く
- スマホで画面をタップする
- スマホで画面上を動く
- スマホで画面上から指が離れる
- キーボードのキーが押される
- ウインドウが閉じられる
- フォームに値が入力される
- データを読み込み始める
- データを読み込み終わる



on を要素に付与することで、イベントを待つ状態になる。

要素.on(イベントの種類, 呼び出される関数);

## イベントの種類

- click クリック
- scroll スクロール
- mouseover マウスオーバー
- mouseout マウスアウト
- load ロード

## click イベント

## scroll

ユーザーがスクロールした際に呼ばれるイベント

```
$(window).on('scroll',function() {

// スクロール値
var dy = $(this).scrollTop(); // Y座標
});
```

# 属性 attribute

## 属性とは

<img src="main.jpg" alt="メイン画像">

- src 属性
- alt 属性

src 属性の値が main.jpg 、alt 属性の値がメイン画像

# attr 属性値の変更

attr('属性名','値');

attrの中に属性名と値を入れると属性値を変更できる

#### index.html

```
<div class="main">
    <img src="main.jpg" alt="メイン画像">
    </div>
```

#### script.js

```
$('.main').find('img').attr('src','sub.jpg');
// src属性のmain.jpgをsub.jpgに変更できる
```

# HTMLタグのクラス変更

### addClass

HTMLタグにクラスを付与する

addClass('クラス名');

#### html

```
    Get Started
    Tutorial
    Guidelines
```

js

```
$('.tab-menu li').on('click', function () {
    $(this).addClass('active');
});
```

### liタグをクリックすると

html

```
     Get Started
     Tutorial
     Guidelines
```

class="active" が追加される

### removeClass

HTMLタグからクラスを削除する

removeClass('クラス名');

### toggleClass

HTMLタグからクラスを付与と削除を交互に行う

toggleClass('クラス名');